

国際ロータリー第2560地区  
ガバナーテーマ

「夢 (gift) を明日へ  
つなげよう」

高田ロータリー今年の  
スローガン

「ロータリーは親睦と  
奉仕の融合」



世界へのプレゼントになろう

2015～2016年度

国際ロータリー会長 K.R.ラビンドラン  
2560地区ガバナー 山本 和則  
高田ロータリー会長 水上 喜芳  
幹事 大島 誠

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号  
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534  
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp  
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員  
田中 正人 小熊 貞良 栗田 修行  
笠谷 吉春 小林 豊茂 霜村 浩

## 第27回例会 ■ 1月22日(金)

No.27

### 直前会長挨拶 ● 齋藤 尚明



皆さんこんにちは。約半年ぶりにお話しさせていただきます。

水上会長が毎週ロータリークラブのことについて素晴らしいお話を詳しくしてくれています。私もいつも勉強させてもらっているわけですが、私にはそういう話は無理ですので、私らしくオークションの話でもしようと思います。

きょうはアートでも音楽の話です。

昨年11月でしたか新聞に出ていたので御覧になった方もおられると思いますが、元ビートルズのジョン・レノンのギターが50年ぶりに発見されてオークションにかけられ3億円で落札されました。

エレキギターではなく生ギター、いわゆるアコースティックギターで、ギブソンという一流ブランドではありますがそれにしても3億円という値には驚きました。さすがにロック音楽関係ではオークション・レコードだということです。

私と同年代の方ならおわかりでしょうが、50年前当時はエレキと言えば即不良で長髪はダメ、グループサウンズはダメと言われた時代でした。

私が確か中3の時人気GSグループ『ブルー・コメッツ』が来るということになりました。勿論

学校では禁止だったのですが何とか見に行くことができ今では良い思い出です。

現在ビートルズの楽曲はクラシックや唱歌とともに子供達の教科書にも載っています。ということは文部省すなわちお上に認知されたということで不良の音楽といわれたものが50年経って誰もが認めるスタンダードになったわけです。世の中大きく変わったものです。

こういう時代を反映して近年ビートルズを筆頭としてロックやポップスのスーパースターの関係品がオークションに出るとクラシックの大作家達にも負けない位の値がつくようになりました。

ということは彼らも段々歴史の中に入ってゆくというか歴上の人物になりつつあるのかもしれない。

私はビートルズのジョン・レノン-ポール・マッカートニーのコンビは現代の大作家として、20年先か50年先かわかりませんがいずれ必ず現在のクラシックの有名作曲家と肩を並べるような存在になっていくものと思っています。

つまりは現代音楽の大作家として後世に名を残すことになっていくことと思っています。

きょうは会員卓話で、東北電力の加藤卓也さんからお話していただきます。加藤さんよろしくお願ひします。

## 出席報告

出席率 96.23%

## セレモニー

米山功労者 クラブ表彰  
財団表彰（ポールハリスフェロー） 藤林陽三君・  
宮澤英文君・澤井祥典君・牧野章一君

## 委員会報告

出席・ニコニコBOX委員会  
小柳勝司君——去る12月9・10日の父の葬儀  
に際しまして、大変大勢の高田クラブのロー  
タリアンの方々に御列席いただきまして、誠

にありがとうございました。心より御礼申し  
上げます。

社会奉仕委員会

2月12日(金) オークションのご案内

(18:30～ 於：高田ターミナルホテル)

2月4日までに物品の協賛をお願いいたしま  
す。

## 幹事報告

配布物：週報No.26

報告：RCを知っていただく活動を進めていま  
す。是非お知り合いの方を例会にお誘い  
ください。

## 会員卓話

## 高レベル放射性廃棄物の地層処分について

加藤 卓也 君



本題の前に、4月から始まる電力  
小売自由化についてお知らせしま  
す。まず、4月以降も東北電力のま  
まで良い方は、自動的に継続となります。電気を  
お送りするのは引き続き東北電力ですので、仮に  
新電力に替えても停電になりやすくなるはな  
りません。当社の新しいプランについてはご相  
談いただければ、個別にお見積もりいたしま  
す。新電力に替えたい方は、そちらのホーム  
ページ等をご参照ください。

さて、「高レベル放射性廃棄物（以下HLW）  
の地層処分について」ですが、HLWにつ  
いては、既に国内にガラス固化体25000本  
分以上の使用済燃料があり、「処分しない」と  
いう選択肢は取れません。なお、HLWは  
福島第一原子力発電所の事故で放出され  
た放射性物質が付着した指定廃棄

物とは別物です。

原子力発電所の使用済燃料には使えるウ  
ランやプルトニウムが残っていますので、エ  
ネルギー自給率が5%しかないわが国はこ  
れを再利用することにしています。しかし、  
再利用できない部分はHLWとなりますので、  
これをガラス固化体に加工し30年～50年  
冷却した後、何重もの安全対策を施して地  
下300mよりも深いところに地層処分す  
ることとしています。

このため、政府は2000年にHLWの最終  
処分法を制定して、事業主体であるNUMO  
を設立し、現在、処分施設建設候補地の選  
定を行っています。世界的にはフィンラン  
ドで具体的な建設が進んでいますが、各  
国とも国民の理解が得られにくい課題で  
あり、わが国も含めて選定は難航してい  
ます。

## 2月例会プログラム

回	日	講演者：演題	会場
29	2月5日	セコム上信越株式会社 中山 隆一 様『演題 未定』	デュオ・セレッソ
30	2月12日	オークション	高田ターミナルホテル
31	2月19日	岡本 シルビア 様『“上越の驚き”について』	デュオ・セレッソ
32	2月26日	卓話者 未定	デュオ・セレッソ